

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	広報広聴特別委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 三宅・池永
日 時	平成24年10月18日(木曜日)		開 議 午前 10 時 00 分
			閉 議 午前 11 時 40 分
出席委員	菱田 福井 苗村 山本 井上 西村 明田 石野 木曾議長		
事務局出席者	今西局長、藤村次長、阿久根係長、三宅、池永		
傍聴者	市民 1名	報道関係者	- 名

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

- 菱田委員長あいさつ -

2 議事

(1) 議会だより 154(9月定例会号)の掲載事項について
・ゲラ版での確認

<福井副委員長>

ゲラ版により内容の確認を行う。

[P 1]

<福井副委員長>

トップページの見出しについて、「一般会計2年連続の黒字決算」としているが、議会としては、決算認定に際し事務事業評価を実施したので、そのことを見出しとして取り扱ってはどうかと考える。如何か。<了>

<福井副委員長>

そのように変更する。

<西村委員>

トップ写真のコスモス園の写真について、背景をぼかしているが、鮮明なほうがよいのでは。

<事務局>

手前にピントを合わせた撮影写真であるので、修整することはできない。

<福井副委員長>

前々回の委員会で選定した写真を再度確認することとする。

(各委員写真確認、ゲラ版のとおりです承)

[P 2 ~ 3]

<福井副委員長>

前回の委員会で第6号議案の撤回に係る記事は掲載しないこととなった。よって、そのスペースを財産の取得に係るバケツコンパクトの写真に入れ替えている。

<明田委員>

議会基本条例の一部改正に係る記事の吹き出しについて、「議論の質の向上を期待」という表現は如何なものか。

<福井副委員長>

文書質問の導入であるので、確かに「質の向上」とするのはわかりにくい。違う文言を考えたい。「さらなる議論の活性化を期待」とするのはどうか。<了>

[P 4 ~ 5]

<福井副委員長>

決算特別委員会の掲載項目について、前回からの主な変更点は、財政健全化比率等を掲載せず、その分、各会計の決算額をわかりやすく大きく掲載した点である。

<苗村委員>

分科会審査による指摘事項について、見出し付けをしたほうがよいのでは。

<福井副委員長>

そのように変更することでよいか。<了>

<木曾議長>

決算の大見出しについて、「一般会計、2年連続の黒字」は、誤解を招く表現である。「実質単年度収支」を入れるべきである。

<菱田委員長>

そのように修正したい。

<福井副委員長>

適切な表現に改めることとする。

[P 6 ~ 7]

<苗村委員>

各常任委員会名のタイトルがバラバラに配置されているため、区切りがわかりにくい。

<福井副委員長>

常任委員会名は右端に揃えて目立つように配置する。<了>

<石野委員>

公社関係の記事中、「借り入れさせ」という表現については如何なものか。

<西村委員>

公社の特別委員会で確認した内容である。

<木曾議長>

この内容で問題ないと思われる。<了>

[P 8 ~ 14]

<福井副委員長>

一般質問について、議員側は全て「問」という表現方法でよいか。問いかけではない文章も含まれているので、確認しておきたい。また、各ページの下には、各質問議員が掲載内容を執筆した旨を掲載しておきたい。

<苗村委員>

「問」とするよりも「議員」としてはどうか。また、議員の文責である旨を代表質問の最初に掲載しているので、2箇所も掲載する必要はないのでは。

<山本委員>

全て「問」にするのではなく、内容によって、「提案」や「要望」などに改めてみてはどうか。

<苗村委員>

それで整理できない表現もある。「議員」で統一すればよい。

< 木曾議長 >

「議員」とするよりも、議員名を記載するほうがわかりやすい。

< 福井副委員長 >

「議員」とするか、議員名を記載するか、どちらがよいか。

< 明田委員 >

議員名を記載することでどうか。

< 西村委員 >

市長側が答弁していないだけで「問」で問題ないと思えるが。

< 菱田委員長 >

今回、議員名を掲載して反応を見てみることでどうか。 < 了 >

< 福井副委員長 >

各議員の掲載スペースは前回までと同じであるが、各議員の枠を取り除き、写真の下の議員名の配置もランダムである。その点からも議員名を掲載する方が、よりわかりやすいと考える。

各議員の掲載内容の詳細について、各委員、所属会派分を確認し指摘願いたい。

14ページ、井上議員の「ファシリティマネジメント」について、注釈が必要と思われるがどうか。各議員の文責とはいえ、広報の視点で手を加えるべき箇所があれば、指摘すべきと考える。

< 山本委員 >

次回以降、このようなことがある場合、委員会から本人に指摘していくべきと考える。

< 福井副委員長 >

今回については、事務局から本人に確認し対応することとしたい。

< 事務局 >

副委員長からの提案のあった、各ページの下に質問議員が掲載内容を執筆した旨を掲載することについて、取り扱いの確認を。

< 福井副委員長 >

掲載したい。異議はないか。 < 了 >

[P 1 5]

< 福井副委員長 >

このページは作業部会での検討結果がゲラ版にまだ反映されていない。後程差し替えるので、その際に確認願う。 < 了 >

[P 1 6]

< 福井副委員長 >

「議会報告会に参加して」の掲載については、作業部会でどのように掲載するか検討したが、やはりまだ字が小さい。もう少し大きくなるようにレイアウトを調整したい。 < 了 >

~ 1 0 : 5 5

(2) 議会報告会について

(ア) 市役所 (市民ホール) 会場について

< 菱田委員長 >

市民ホール会場の取り扱いをどうするか。

< 事務局 >

- 前回の経緯を説明 -

< 明田委員 >

今まで自治会を対象にやってきた。参加地区に制限はないが3自治会を中心に案内しては。各種団体へはきちんと整理してからにしてはどうか。

< 西村委員 >

それで良い。

< 山本委員 >

それで良い。

< 石野委員 >

それで良い。

< 苗村委員 >

それで良い。アンケート結果を踏まえて今後のことを検討しては。

< 福井副委員長 >

特にない。

< 菱田委員長 >

当初の計画通り亀岡地区3町に案内する。また、市民ホールの会場分担に亀岡地区の議員が入っているので、会場分担を変更したい

- 会場分担変更案配付、事務局説明 -

< 菱田委員長 >

このように変更することでどうか。

< 西村委員 >

菱田委員長と議長の2人だけの交代にしてはどうか。

< 苗村委員 >

まだ会派には配られていない。影響が少ないようにする必要はある。

< 西村委員 >

まだ会派に出ていないならこれで良い。

< 菱田委員長 >

全議員には29日の全員協議会で確認いただくことになっている。

< 事務局 >

菱田委員長が交代することにより、亀岡地区の会場責任者をどうするか検討を。

< 菱田委員長 >

石野委員にお願いする。

(イ) 報告会当日の資料について

< 菱田委員長 >

前回と大きく変更はない。このような形で良いか。 <了>

(ウ) 報告会当日のアンケートについて

< 菱田委員長 >

会場責任者は議会報告会におけるインタビューもお願いする。

(エ) 全議員へのアンケートの結果について

< 事務局 >

すべての意見を網羅した資料である。次回からは検討用に集約した資料で検討いただくことになる。

< 菱田委員長 >

次回からの委員会で議論を深めていきたいので、内容の確認を。

3 その他

・石川県白山市議会（議会だより編集委員会）視察対応について

< 広報広聴特別委員会で対応 >

日時：平成24年11月7日（水）13：00～15：00

内容：広報広聴特別委員会との意見交換

議会だよりの編集について

議会広報広聴について

[事務局説明]

< 菱田委員長 >

調査票の内容では、白山市議会のほうが少しボリュームあるが、編集に関してほぼ同様である。お互いの意見交換を通じて、今後の編集に活かしていきたい。視察対応に当たり、各委員のコンセンサスをとるため、当市議会だよりの概要について事務局から説明願う。

< 事務局概要説明 >

< 菱田委員長 >

編集方針について、これまでの編集で議論してきた点を踏まえ、「手に取り、読んでもらえ、議会の活動がありのままに伝わることをめざす」こととしているが、他に意見はないか。 < 了 >

< 菱田委員長 >

編集体制等、全般を通じて意見は。

< 西村委員 >

印刷業者の編集参画について、契約上の位置づけはどうなっているのか。

< 事務局 >

契約仕様の中に、印刷業者の委員会出席、編集への参画を条件として明示しており、それを含めての印刷単価の入札である。別途の支払いは生じていない。

< 西村委員 >

一般的に印刷業者のデザイン料等はどの程度なのか。

< 菱田委員長 >

経費としての見積もりは困難な内容である。それを含めての印刷単価ということである。

< 福井副委員長 >

白山市議会の議会だよりを事前に用意できるか。

< 事務局 >

調整する。

< 苗村委員 >

編集の取り組みについて、昨年8月、京都府市町村振興協会の研修への参加により講師から色々とおアドバイしいただいたことが、編集改善への契機となった。そのことを具体的に挙げてはどうか。 < 了 >

< 木曾議長 >

視察の受け入れの中でポイントとなることは、どのようなことで苦労したのかということである。どのような苦労があってここまでできたのか、失敗談などが参考となる。

< 菱田委員長 >

そのことも含め、対応していきたい。

・ 次回の委員会の日程について

< 菱田委員長 >

次回の議会だより編集日程については、11月27日の招集告示日に1回目の委員会を開催したいと考えている。議会報告会については、アンケート結果を踏まえた今後のありかたを検討したい。そのため、11月7日の視察対応の後、委員会を開催したいと考えるがいかがか。 < 了 >

~ 11 : 40